

つ市議会だより

第77号

令和7年6月1日

令和7年第1回津市議会定例会……………	2
議決結果一覧表……………	15



「HOWAパーク（中勢グリーンパーク）」

中勢北部サイエンスシティ内にある津市最大級の公園で、広大な芝生広場や大きな噴水のほか、さまざまな遊具やアスレチックが設置されています。令和5年4月1日にリニューアルオープンし、カフェ、ドッグラン、バーベキュー場、芝そりゲレンデなどが新設されました。幼児向けの遊具もあり、平日でも多くの人で賑わっています。令和6年10月1日からネーミングライツ・パートナー契約により愛称としてHOWAパークを使用しています。



令和7年第1回津市議会定例会

令和7年第1回定例会が、2月19日から3月25日までの35日間、開催されました。



閉会日の様子

議案質疑 一般質問

今期定例会では、3月3日から6日までの4日間にわたり質疑・質問を行いましたので、その主な内容をご紹介します。各議員の発言時間は、一人一律60分以内で、問答の項目は、質疑・質問の中から各議員が選んだものを掲載しています。

会派代表質問

- 3ページ……長谷川 植（未来開拓）、滝 勝弘（日本共産党津市議団）
- 4ページ……保田 勝平（津和会）、桂 三発（一期一会）
- 5ページ……小島 晴美（公明党議員団）、岡村 武（至誠会）
- 6ページ……八太 正年（自由民主党市議団）、小野 欽市（津市創成）
- 7ページ……田矢 修介（希望の風）、坂井田 茂（津教育未来）
- 8ページ……田中 勝博（一津会）、福田 慶一（市民の声）
- 9ページ……石川 禎紀（津みらい）

個人質問

- 9ページ……堀口 順也
- 10ページ……藤田 定彦、中野 裕子
- 11ページ……青木 秀晃、佐藤 知子
- 12ページ……中田 耕平、川口 和雄
- 13ページ……伊藤 哲也、佐藤 有毅
- 14ページ……柏木はるみ、山路小百合

会派の構成

津みらい

石川 禎紀 伊藤 哲也
藤田 定彦 ☆柏木はるみ
田中 千福 岩脇 圭一
吉田 博康 ◎ 佐藤 有毅

公明党議員団

◎ 堀口 順也 安積むつみ
☆小島 晴美 青山 昇武

津教育未来

◎ 坂井田 茂

日本共産党津市議団

◎☆滝 勝弘 中野 裕子

未来開拓

◎ 長谷川 植

津和会

佐藤 知子 ◎ 保田 勝平
☆青木 秀晃 川口 和雄
辻 美津子 倉田 寛次

一期一会

◎☆桂 三発

市民の声

◎ 福田 慶一

至誠会

◎ 岡村 武

希望の風

◎ 田矢 修介

津市民の会

◎ 渡辺 晃一

自由民主党市議団

◎ 八太 正年

津市創成

☆中田 耕平 ◎ 吉川 一正
山路小百合 小野 欽市

一津会

◎ 田中 勝博

◎代表者 ☆議会だより編集委員
令和7年第1回定例会時点



問 「小さな政府、安い税金」を目指す事務事業評価について問う

トランプ大統領が「政府効率化省」を設置し、「小さな政府、安い税金」を目指して、政府の業務を見直し、無駄な支出を抑えていこうとしている。行政には、民間のような競争原理が働かないため、業務を見直し、改善につなげる自己点検が一層重要となる。自らの業務を見直し、無駄を削減するための重要な取り組みである事務事業評価について、津市の現状と課題を問う。

答 津市では平成20年度から事務事業評価に取り組んでいる

津市では、事業の達成状況を自ら把握し、事業をより効率的に実施するため、平成20年度から事務事業評価に取り組んでいる。令和3年度からは津市総合計画の進捗管理と一体的に実施することとし、総合計画に位置付ける施策のに基づく主な事務事業を対象に実施している。また、職員の気づきや意見に基づき評価シートを柔軟に見直すなど、可能な限り効率的に実施し、職員の事務負担の軽減を図るとともに、担当責任者や若手職員を対象とした行政評価セミナーを継続的に実施することで職員全体の意識とスキル向上に取り組んでいる。

その他の質疑・質問

- 白塚・栗真地区など広範囲に影響を及ぼした「水道管等破損事故」について
 - 水道水の断水および濁り水の原因の詳細について
- 大災害に備えた「防災無線の改善」「インフラの老朽化対策」について
 - 防災無線の改善策について

白塚・栗真地区など広範囲に影響を及ぼした水道管破損事故での給水活動



問 水道工事発注と職員逮捕の問題で人事異動させなかった理由は

津市水道事業における維持、修繕業務に係る問題で職員が逮捕された件について、問題の中心と考えるのは、技能員の人事異動が長年されなかったことである。令和7年2月19日付の業務改善の取り組みについての文書の中でも改めるとしているが、なぜこれまでできなかったのか。また、人事の任命責任はたどれば市長にあるが、市長の人事的な責任についてどう考えているのか。

答 昭和の時代から続く人事体制を普通のことと認識していた

技能員の長期在籍については、昭和の時代から続けられており、それが技能員の仕事だと認識してきたが、ここに今回の問題の原因があるということが分かったため、今後は技能員としての技能を伝承しながら、しっかりとジョブローテーションを行い、市民に迷惑がからない体制を構築していく。

また、人事権については、上下水道事業管理者にあるが、これまで上下水道事業管理者に対して、市長部局として提案や調整をしてこなかったということにおいては、市長にも責任があると思っている。

その他の質疑・質問

- デマンド型交通の導入をどこまで計画し、議会や市民にはどう伝えてきたか。実証実験の状況は
- 津市応急クリニックの年末年始の混雑状況は
 - 受付が屋外で長蛇の列になったことへの対応は
- 一身田・白塚などで発生した濁水事故の対応は
- あおう温泉の長期休業の要因と対応について
- 河芸地域の建設発生土処分事業の状況は

デマンド型交通実証実験の該当地域だけでなく議会や市民に準備状況をこのように案内すべき





問

上下水道部局職員2名の詐欺・収賄について問う

令和7年1月23日に職員が詐欺容疑で逮捕され、2月12日には収賄容疑で再逮捕されるという、あってはならない事態に発展している。その後、上下水道部局は「業務改善の取組」を取りまとめ、研修の実施やコンプライアンス責任者の配置等の改善案を示したが、これで改善されるのか不安を感じる。この取り組みは形骸化しないのか。また、コンプライアンスの徹底は実現できるのか。

答

新たな組織体制でコンプライアンスの徹底に努めていく

新たな組織体制や業務内容の改善に当たっては、新たな体制での業務執行について事前に確認も行っており、人事配置についても上下水道部局と人事部局との間で調整を行っている。

また、コンプライアンス責任者には、所属長を充てる方向で進めており、その業務としては、各所属におけるコンプライアンス推進のための研修および助言を行うことなどを予定している。所属長として部下の業務状況を把握して管理するだけでなく、部下と風通し良く会話をしていくことで、コンプライアンスの徹底に努めていく。

その他の質疑・質問

- こどもまんなか社会実現会議について
- 産前・子育て応援ヘルパー派遣事業について
- こども誰でも通園制度試行的実施について
- 子育て世帯移住促進空き家活用助成事業について
- 母子健康情報のデジタル化について
- 公園整備について

など

千葉県市原市など、既に母子健康手帳アプリを導入している自治体がある



問

子どもの変化を見つけられる授業を

子どもたちが主体的に学ぶ授業では、教師が授業の最初に課題を与え、子どもたちはグループになったりタブレットを使ったりしながら学び合っているが、保護者からは教師が何も教えていないように見えるのではないのか。

また、どの地域でも同じ学びが必要と考えるが、大規模校でも小規模校でも同じような学び合いができるのか。

答

子どもたちをしっかりと見て支援、指導していく

教師は、子ども自身が選択した学び方、方法、誰と学んでいるか、孤立していないかといったことをしっかりと見て、必要であれば子ども同士をつなぐなどの対応を取るため、今まで以上にタイミングを見逃さずにしっかりと支援、指導していくことが必要になってくる。

小規模校では子どもたちの人数が少なく、誰と学べるかという選択肢が限られてくるが、異学年や他校の子どもたちとの交流などから学んでいくことも考えられ、また、教師が一人一人の学習状況や学習内容の定着状況をしっかりと把握できるというメリットもあると考える。

その他の質疑・質問

- 報告第1号および2号 専決処分の報告について
- 議案第17号 工事請負契約について
- 議案第29号 令和7年度津市一般会計予算
 - 地域おこし協力隊事業について
- 「こどもまんなか社会実現会議」について
- エリアプラットフォームについて
- 学校施設長寿命化等改修事業について

「子どもが主体的に学ぶ授業」で、子どもたちが学び合える学校環境の構築を





子どもへの季節性インフルエンザ予防接種費用の助成について

令和7年度予算で、1歳から就学前までの幼児を対象に季節性インフルエンザ予防接種費用の1回2千円の助成に係る予算を計上している。厚生労働省は13歳未満の子どもに2回接種を推奨しているが、2回で6千円から1万円ほどかかる。また、学級閉鎖による学習の遅れの弊害を考えると小中学生も助成の対象にすべきである。そこで、費用助成の増額と対象年齢の拡充を求めるがいかがか。



費用助成の増額や対象年齢の拡充は考えていない

費用助成については、想定接種費用を4千円とし、津市が実施している他の任意予防接種の費用助成の考え方や県内他市町の助成額などを参考に想定接種費用の5割に相当する額を助成額としており、増額は考えていない。また、小児の季節性インフルエンザは、一般社団法人日本感染症学会において5歳未満の者はインフルエンザワクチンの接種がぜひ必要との見解が示されていることや、国立感染症研究所が公表しているインフルエンザの年齢階層別報告数において、1歳から6歳までの間が増加傾向となっていることなども踏まえて、助成の対象は1歳以上の未就学児としている。

その他の質疑・質問

- 産前・子育て応援ヘルパー派遣事業
- 子育て世帯移住促進空き家活用助成事業
- 令和7年度施政方針について
- こども・子育て政策について
- 都市づくりについて
- 産後に安心して搾乳できる環境づくりについて
- シンボルマークの設置について

津市の公共施設等の「授乳室」へのシンボルマークや案内等の掲示を要望した

授乳室で搾乳ができることを示すシンボルマーク



出典：神奈川県健康医療局保健医療部健康増進課



し尿処理事業に係る補助金における不公平の穴埋めは

し尿処理事業を行う15社のうち津環境整備事業協同組合に属する3社だけを対象として、市町村合併後20年にわたり7億円近くを交付してきた津市一般廃棄物（し尿）処理事業補助金により、15社の間に不公平が生じている。このことは、津市公正公平な市政の確保に関する条例をはじめとする各種法令および合併協定書に違反しているが、不公平の穴埋めはどうするのか。



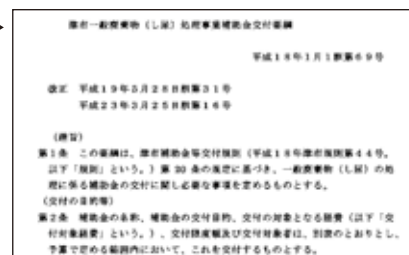
ルールにより支払ったもので穴埋めするものではないと考える

当該補助金は、合併後約6億8,000万円の予算が計上され、それにより補助対象である津環境整備事業協同組合に属する3社とその他の12社の間に不均衡が生じている。合併以降、12社との協議を行っていないことについてはお詫び申し上げるが、当該補助金は、ルールにのっとって支払われてきており、穴埋めするものではない。また、意図的に不公平な取扱いを行ってきたものではなく、直ちに条例違反となるものではないと考える。なお、当該補助金は令和3年に不均衡を解消するために協議した結果、猶予・周知期間のため令和7年度まで交付することとしたものである。

その他の質疑・質問

- 内部統制室の業務概要について

津市一般廃棄物（し尿）処理事業補助金により事業者間に不公平が生じている





問

雲出伊倉津町地内の避難道路について、市は放置していないか

雲出伊倉津町地内の避難道路について、令和3年度に自治会から道路拡幅の要望が出されていたが、それ以来、市は放置しているのではないかと。また、雲出伊倉津町地内の方々に対して、市はどのような説明をしているのか。

答

現地立ち会いを行い、状況についてご理解いただいた

令和4年1月12日付で自治会から要望書が提出されたことから、現地立ち会いを行ったところ、雲出伊倉津町地内の道路は非常に狭く、災害時には徒歩による避難が原則となることから、避難道路としての拡幅ではなく、生活道路としての拡幅を求める旨の説明を受けた。

このことから、生活道路の拡幅については、すぐに事業化することができない状況であることを説明し、理解を得ている。

その他の質疑・質問

- 都市計画道路の進捗状況について
 - 久居井戸山町垂水線および雲出野田線等の進捗状況は
- ズリ(物品)の管理および処分は適正か
- 市営浄化槽の違法設置について(平成29年度)
- 学童保育の施設整備等について

伊倉津地区の狭あい道路



問

津駅東西のバスタ事業を含む開発について問う

津駅のバスタ事業を含む開発について、既に津駅西口周辺は、令和7年度から先行して着手する予定と聞いている。津駅東口周辺は、国、県、市が連携して事業を進めることとなり、周辺の民間事業者の十分な理解と協力が得られるように進めべきと考えるが、津市はどのように対応するのか。

答

官民一体で駅やまちの魅力づくりを目指す

バスタプロジェクトは、国、県、市の3者が連携し、津駅周辺の将来像を示すビジョンの作成に取り組んでおり、津市は、東西自由通路の検討や民間事業者のノウハウ等を生かせるよう周辺の公共施設を含めた官民連携による整備および管理運営につなげるためのサウンディング調査を実施し、官民一体で駅やまちの魅力づくりを目指す。また、津駅東口周辺まちづくり懇話会の意見を踏まえ、新たな交通ターミナル上部空間への民間主導による土地の高度利用について示すなど、民間事業者が魅力を感じられるよう津駅周辺地区の魅力や価値の向上と土地利用促進につなげていく。

その他の質疑・質問

- 議案第29号 令和7年度津市一般会計予算
 - 大門・丸之内地区の再活性化について
 - 津なぎさまちを基点に観光ネットワーク構築を
 - 各地域包括支援センターの対応力の差の是正は
 - 地域によってごみの収集方法が違うのはなぜか
 - 水道汚職に関し、旧態依然の職員の意識改革は
 - 津城跡周辺の開発で中心市街地活性化を など

混雑する津駅東口の様子





問 市民の生命を守る津市の救急医療体制を問う

市民の生命を守る津市の救急医療体制について、いつでも、どこでも、誰もが適切な救急医療を受けられる体制を構築することが求められている中、令和6年4月から三重大学医学部附属病院が全ての曜日で輪番病院をバックアップする新たな二次救急医療体制に移行した。この新たな二次救急医療体制の成果を問う。

答 新たな救急医療体制の構築で救急搬送状況は大きく改善された

津市における救急件数は増加傾向にあり、令和6年中に救急搬送をした人数は過去最多を記録した。新たな救急医療体制が始まった令和6年4月から12月までのデータによると、救急搬送状況を示す指標として使われる重症以上の傷病者を搬送する際の病院照会回数4回以上の割合は2.5%（令和5年から3.6ポイント改善）、現場滞在時間30分以上の割合は8.1%（同4.4ポイント改善）となった。新たな救急医療体制に移行する前はいずれも全国平均より高い数値であったが、移行後は全国平均より低い結果となり、救急搬送状況は大きく改善された。

その他の質疑・質問

- 令和8年1月1日に津市は合併20年を迎えるが、津市の歩みに対する評価と新たなビジョンは
- 津駅西口駅前広場の整備について、これまでの意見募集等の集約結果と基本計画への反映は
 - 線路沿いの駐輪場整備の今後の進め方は
- 教育方針における市民ニーズの具現化は
- 令和7年度における放課後児童クラブの整備は

三重大学医学部附属病院が輪番体制をバックアップすることでさらなる体制強化が図られた



問 教員が担うべき業務に専念できる支援体制強化の具体策は

小中学校等の教員が余裕を持って授業準備や教材研究を行うことのできる時間を保障し、授業力や対応力の強化を図るための環境を整えることは教育委員会の責務である。教員の業務負担軽減を図り、子どもと向き合う時間を確保するためには、教員業務支援のための関係職員（教員支援員等）の継続的な配置は欠くことができない状況であることから、今後の配置計画等について問う。

答 教員支援員に代わる仕組みを作り上げるため議論を進める

教育現場の教員の負担軽減、時間外勤務の削減を目的として、津市独自に、行政経験などのある再任用職員を教員支援員として10人、20校に配置するとともに、国の制度であるスクール・サポート・スタッフを令和3年度から全校に、現在では87人を配置している。学校からの人気が高い教員支援員には再任用職員を配置しており、定年延長により人数が少なくなる一方で、スクール・サポート・スタッフだけでは支援として十分ではないと考えることから、再任用職員の配置に代わる仕組みを作り上げていくため、今後、総合教育会議などで議論していきたい。

その他の質疑・質問

- 小中学校等における「多様な学び」を支える人的支援に関して
 - 津市臨時講師（教育課題対応講師等）について
 - 特別支援教育支援員について
 - 学校サポーター、学級支援サポーターについて
- 学校施設の防水改修工事について
- バイク駐車場の整備について など

排気量に関係なく、全てのバイクが駐車できる「二輪駐車場」の駅周辺への設置が望まれる





問

低地帯区域、高茶屋地区・藤水地区の浸水対策は

全国的にも甚大な被害が生じた令和6年8月の台風第10号の影響により、高茶屋地区・藤水地区では、冠水した道路で車両が立ち往生するなど、市民生活に大きな影響があった。その後、浸水被害軽減に向けた対策がされていますが、今後も着実に事業を進めることが必要と考える。

高茶屋地区・藤水地区の浸水対策についての進捗はいかがか、質問いたします。

答

雨水幹線の整備など、浸水対策を進めている

低地帯区域の浸水対策について、津市では昭和35年度から、雨水幹線やポンプ場の整備を進めており、ポンプ場などの排水能力は昭和49年時点から約5倍に向上している。しかしながら、局所的に道路冠水が発生しているため、現在、藤方地区の藤方第2雨水幹線築造工事や天神大新田地区の天神ポンプ場に接続するための雨水幹線整備を進めている。

また、一部の場所で冠水が発生するなどの問題に対しては、水路や升の改良および管理に加え、既設水路へ取付管を接続するなど、状況に応じた対策が重要だと考えている。

その他の質疑・質問

- 木造住宅耐震化について、新耐震基準の支援は
- 岩田池公園の整備状況と今後の公園管理は
- 社会福祉法人の指導監査について
- 「レークサイド君ヶ野」「道の駅美杉」「錫杖湖水荘」、市直営施設の運営状況と経営改善は
- 教育方針より①教師が教えるから子どもが学ぶ②バリアフリー化③社会教育、生涯教育は など

津市天神ポンプ場



問

防災における住民主体の取り組みの重要性について問う

従来の行政主導の防災から、住民主体の防災へと意識を転換する必要がある。つまり、「住民を守る」視点から「住民が助かる」視点への意識啓発を進めることが重要である。本市の地域防災力の向上や高齢者および要配慮者支援、行政の役割の再定義と防災施策の今後の方向性などの各課題について、「命を守る」防災の視点から、本市の現状と今後の取り組み、考え方を問う。

答

地域と連携し、津市全体としての災害対応力を高めていく

本市では、自治会や自主防災会による学習会などを通じて、適切な避難行動の要領や避難の際に注意すべき点などを説明している。また、個別避難計画には、支援者や支援方法を具体的に定めているほか、配慮すべき事項を記載するなど、支援者の方々の共助に基づく取り組みを進めている。

令和6年度には、災害時受援計画の大幅な改定と道路啓開計画の策定を行い、迅速かつ円滑な救出救助活動ができる環境を整備するなど、公助の取り組みを強化した。防災訓練や研修会を通じて、引き続き自主防災会や消防団などと連携し、津市全体としての災害対応力を高めていく。

その他の質疑・質問

- 不登校児童生徒の健康診断について
- 年末年始の応急診療について
 - 応急クリニック等の年末年始の状況と課題は
 - 課題を踏まえた今後の対応は
- 舗装道路の管理、保全について
- 電子入札の導入について
- マイナカードの更新の集中と対応について

津市応急クリニックでは、年末年始においても診療を行っている





問 津市地域公共交通計画と公共ライドシェアについて問う

市内全域でデマンド型バスへの移行に向けて進めているが、地域によって課題や要望も違うため、一律の移行は難しい。そこで、交通空白地においては公共ライドシェア（自家用有償旅客運送）の制度を活用してNPO法人等の地域主体で運営し、そこに津市が補助金を出すような考えはないのか。また、そのような取り組みを次期地域公共交通計画に位置付けていくべきではないか。

答 地域主体の運営も含め次期計画の策定の中でしっかり検討する

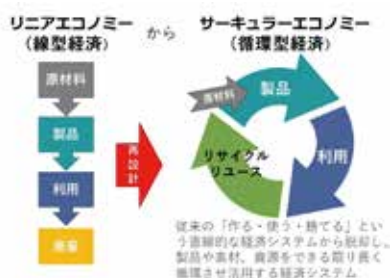
現在検討中のデマンド型交通については、これまでのように定時定路線をバス事業者などに運行していただくという形態とは異なる仕組みを考えており、引き続き公共ライドシェアの制度によりデマンド型交通を運行する地域は、この公共ライドシェアの枠組みの中で行っていくことになる。

したがって、運用の改善がなされ、活用へのハードルが緩やかになっている公共ライドシェアの仕組みの下で、新たな運用も考えられるので、地域主体の運営も含めて、公共ライドシェアの仕組みの中でどうマッチするのか早急に考え、次期地域公共交通計画の策定の中で検討していく。

その他の質疑・質問

- 議案第29号 令和7年度津市一般会計予算
- 広報関係予算について
- シェアサイクル実証実験について
- 学校施設改修特別推進事業について
- 教育ICTヘルプデスク運営事業について
- 学校体育館の空調設備設置について
- 環境負荷を減らすための市民意識改革について

脱炭素社会を目指すためのシステム、サーキュラーエコノミー（循環型経済）



問 女性活躍の推進と男性の働き方改革でジェンダー平等へ

「家事をするのは女性の役割」のような発想を性別に基づく役割意識、つまり「固定的性別役割分担意識」といい、「女性は家で家事・育児をするべき」という考え方と「男性は外で働き家族を養うべき」という考え方が合わさり、本人の意思や希望、得意・不得意に関わらず、性別に基づいてやるべきことが決まる。ジェンダーに基づく決め付けを改め、ワーク・ライフ・バランス向上を。

答 魅力的で働きやすい環境づくりを推進していく

男女が共に仕事や家庭生活等に参画し、働くことを希望する全ての人が仕事と家庭生活を両立できるようにするためには、事業所および勤労者が働き方や固定的な性別役割分担意識を見直す必要があることから、今後も事業者訪問を継続し、男性・女性を問わず、誰もが生き生きと活躍できる魅力的で働きやすい環境づくりを推進していく。

また、市役所で働く職員に対しても、男性の育児休業や介護休暇の取得について案内するほか、家庭における男女共同参画の推進を目的とした研修を行っており、今後も男女を問わず職員のワーク・ライフ・バランスの向上を図っていく。

その他の質疑・質問

- 水道修繕工事をめぐる事件について
- 津市内の下水道管路の緊急点検を行った結果は
- 「上下水道耐震化計画」について
- 一身田町地内で起きた水道水の濁りへの対応は
- 被爆80周年の取り組みとして「核兵器禁止条約」の早期締結を求めるオンライン署名の促進を
- 若い世代への平和学習の展開は

6歳未満の子どもを持つ日本人男性の1日あたりの家事・育児時間を83分から150分に



出典：内閣府男女共同参画局



問

介護用抱っこひもを給付の対象に!!

3歳から小学校卒業までくらいの歩行困難な子どもの外出や、車から車いすなどへのちょっとした移動の補助、屋内や入浴時などの移動補助、災害時の避難などに使える用具として、介護用抱っこひもがある。

津市が実施している重度障害者等日常生活用具給付事業の概要と、介護用抱っこひもを同事業の給付対象にできないのかを問う。

答

給付対象とすることについては総合的に検討していく

津市重度障害者等日常生活用具給付事業は、障がい者ならびに障がい児およびその保護者の日常生活上の便宜を図るため、障がい者等に対して必要な日常生活用具を給付するもので、利用者および配偶者（児童の場合はその世帯の他の世帯員）の所得状況に応じて利用者負担は異なる。

介護用抱っこひもについては、保護者の身体的負担を軽減させると同時に、利用者本人の成長に応じて複数の抱き方ができるなど快適性も維持できるとされているが、給付対象にするかについては、他の自治体の取り組み状況や他の障がい福祉サービスの状況を踏まえて総合的に検討していく。

その他の質疑・質問

- 津市地域福祉計画について
 - 計画の存在は
 - 高齢者福祉計画および障がい者計画との違いは
 - 福祉センターおよび隣保館への今後の支援は
- 熱中症対策について
 - 児童に対する対策について
 - クーリングシェルターについて

福祉センター、隣保館への支援を



問

津市出会い応援事業の廃止を

津市出会い応援事業では、平成27年度から少子化対策の取り組みとして婚活イベントやセミナーなどを行っている。しかし、事業開始から10年間、イベント後の成婚数、出生数を把握できていないことに加え、多様性の時代に異性との結婚を前提としていること、若年層が望むのは出会いの機会ではなく賃金の上昇と考えることなどの理由から本事業の廃止を求めるがどうか。

答

市民の期待に応えるささやかな事業と考えている

津市出会い応援事業は、少子化対策の一環として国の交付金を活用して実施している。さまざまな価値観がある中で異性間で結婚して、家庭を築いて、子育てをしていくということを望む方への出会いのきっかけづくりであり、行政が婚活イベントを主催することで安心して参加できるという方がいることからこれまで実施してきたものである。この事業に関し、さまざまな意見があることは十分承知しているが、だから廃止するというものでもなく、このような事業に期待してくれる方がいて、その期待にお応えしている、ささやかな事業であると考えている。

その他の質疑・質問

- 公立保育施設主食提供全園実施について
 - 主食提供開始に当たり、保護者への周知は
 - 業務増を受けて保育士等の負担をどう減らすか
- 公共施設のトイレに生理用品の常備
 - 社協との連携のみでニーズを満たせるのか
 - ジェンダーギャップ解消の観点から設置する考えはないのか

伊賀市役所の女性トイレに試行的に設置されている生理用品





問 ゴルフ場利用税交付金の一志町大仰地区の道路等への活用を

ゴルフ場利用税は、ゴルフ場へのアクセス道路の改修等を目的に都道府県が課税する。津市には県から毎年3億円程度がゴルフ場利用税交付金として交付されるが、一志地域のゴルフ場へのアクセス道路は決して良いものとは言えず、県道の大仰橋は耐震性もない。当該税は目的税ではないが属地性があるため、一志町大仰地区や一志町井生地区、初瀬街道等に交付金を活用すべきでは。

答 特定の道路整備の財源に充てることは考えていない

市内の道路整備については、各地域から多くの要望を受けており、公共性、公益性を考慮しながら、限られた財源の中で効率的、効果的に進めている状況であり、普通税であるゴルフ場利用税を特定の道路整備の財源に充てることは考えていない。

なお、大仰橋は橋梁点検^{きょうりょう}の結果、4段階のうち良い方から2番目の予防保全段階であった。県道の整備については、県においてしっかりと整備財源を確保し、鋭意取り組んでいただいている。

その他の質疑・質問

- 一志地域の道路について
 - 下川原橋の耐震性について
 - 県道一志嬉野線の拡幅について
 - 市道井生波瀬線の完工見込み年度について
 - 道路法第44条の適用による危険除去について
- 電子郵便について
- 農業用ため池ソーラーについて

など

一志町大仰と国道165号をつなぐ市道路線の狭あい部（庄田町地内）



問 鉛製の水道管の残存世帯数と完全撤去に向けた計画は

鉛製の水道管は、かつて日本中で使用されていたが、鉛が水に溶け出すことによる健康リスクが懸念され、全国的に撤去が進められている。

津市の水道事業において、現在使用されている水道鉛管の使用世帯数はどの程度か。また、鉛管の完全撤去に向けて、予算の確保や工事の進め方について、どのような計画があるか。

答 鉛管の解消に向けて、着実に取り組んでいく

市内に残存する鉛製給水管は、令和5年度末時点で2,173件であった。

鉛管の完全撤去について、現時点で最終的な目標年数を示すことは難しいが、令和5年度以降、修繕工事等で鉛管が発見された場合には、全て撤去している。

今後も、鉛管が発見された場合には積極的に撤去していくとともに、その予算措置も含め、鉛管の解消に向けて着実に取り組んでいく。

その他の質疑・質問

- 公立小中学校の給食費の補助金と無償化について
- 岩田川の堆積土砂について
- ファミリー・サポート・センター事業の提供会員確保に向けた取り組みについて
- P F H x Sを含むP F A S (有機フッ素化合物)の検査体制について

暗い灰色をした鉛管





問

地域包括支援センターへの理学療法士の配置について問う

令和7年は、高齢者の2025年問題といわれるように団塊の世代が後期高齢者となるため、医療・介護給付費の増大や現場の人手不足が懸念されており、地域包括支援センターに理学療法士を配置することの重要性が高まっていると考えます。

他市では各地域包括支援センターに理学療法士を配置することで介護給付費を削減できた事例もあるが、津市の配置状況と今後の方向性は。

答

基幹型地域包括支援センターに資格を持つ職員を配置している

津市では、基幹型地域包括支援センターに理学療法士の資格を有する職員1名を配置している。

なお、市内10カ所に設置している委託型地域包括支援センターには理学療法士を配置していないが、同センターが主催する地域ケア会議に理学療法士も参加することで、専門的な助言をケアプランに反映させているほか、地域における運動指導を三重県理学療法士会に委託するなど、理学療法士と連携して介護予防の充実につなげている。

委託型地域包括支援センターへの理学療法士の配置については、国の動向を注視しつつ、他の自治体の取り組みについて調査研究していく。

その他の質疑・質問

- 介護保険の要介護・要支援認定の遅れについて
- 中学校の部活動の地域移行について
- 小中学校のタブレット更新と学習内容について
- 小中学校の残飯を減らす取り組みについて
- 小中学校のスクールトレーナーの活用について
- 津市のご当地キャラを活用した地域振興について

▶ 前回の質問以降に道の駅津かわげに並んだシロモチくんグッズ。販売箇所、品数の増加を望む



問

津駅前観光案内所における観光協会の物品販売について問う

津市が委託している津駅前観光案内所業務の契約書および仕様書に記載がないにもかかわらず、受託者の津市観光協会は、津市の許可なく、委託業務を行う観光案内所の中で、委託料を使って自主事業の物品販売を行い、独自の利益を得ているが、その行為は法令に抵触しないか。また、指摘せず黙認している商工観光部の見解と法令を順守すべき行政機関として適正な判断かを問う。

答

今後、仕様書等において自主事業について明確にしてい

津駅前観光案内所の運営に係る委託料は、受託者の自主事業である物品販売に係る経費を控除した上で支払っている。委託契約の仕様書は、物品販売に係る事項を除いて作成しているため、現状、観光案内所における自主事業に関する記載はない。物品販売を禁止する明文がないことから、違法性はなかったと判断しているものの、市民の誤解を招くおそれがあると考えます。

今後は、自主事業について事前に津市の承認を得ること、自主事業に係る控除について仕様書に記載することや、控除する経費の算出の考え方を整理し、明確にするよう努めていく。

▶ 津駅前観光案内所





問 下水道管の点検の状況は

埼玉県内で発生した下水道管の破損に起因する道路陥没事故を受け、全国で下水道管の緊急点検が行われていると報道を通じて聞いているが、津市における污水管の総延長と、そのうち今回点検を行った延長およびその結果は。

また、これまで台風などの災害から市民を守るために雨水管の整備が進められてきたが、大口径の雨水管の点検は実施しないのか。

答 污水管の点検を完了し、雨水管の点検にも着手している

津市の污水管の総延長は、令和5年度末現在で約1,094キロメートルで、国から要請があった緊急点検の対象となる施設はないものの、自主的に口径2メートル以上の污水管1,806メートルの点検を行ったところ、349メートルは管更生工事を完了しており、健全な状態であった。残る1,457メートルについては、確認された1カ所の腐食は補修を完了しており、17カ所の地下水の浸入水は適宜点検を行い、適切な維持管理に努める。

また、雨水管についても、大口径の管12.7キロメートルの点検に着手しており、腐食や浸入水があれば、適宜適切な維持管理に努める。

その他の質疑・質問

- 津市職員の給与に関する条例等の一部改正について
 - 人事院勧告に伴う今回の改正内容について
 - 地域手当および扶養手当について
- 技能員の人事異動について
- 昨年の衆議院議員総選挙を総括して本市の投票率について

▶
口径2メートル以上の污水管の緊急点検の様子



問 一級河川雲出川水系の河川整備の進捗状況を問う

平成26年に策定された雲出川水系河川整備計画は、令和3年度から実施されている「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」により重点的に予算配分がされたことで、かなり前倒しをして事業が進められているが、現在の整備状況は。

また、一級河川雲出川水系（指定区間）河川整備計画に基づく三重県管理の赤川の河川整備の進捗状況はどのようになっているか。

答 雲出川の整備に合わせ、赤川の整備も進められている

雲出川については、平成27年度に下流部、令和3年度に中流部の整備に着手している。令和6年度には其村地区および須ヶ瀬地区において、堤防強化や無堤部の堤防整備に向けた用地買収、河道掘削が実施されており、国による整備が鋭意進められている。県が管理する赤川については、令和5年度に県道松阪久居線の相互橋から上流へ河床掘削や相互橋上流左岸側護岸ブロックの修繕、令和6年度に雲出川合流点から近鉄橋梁までの航空測量による河川測量、雲出川合流点から相互橋までの護岸詳細設計が行われ、国による雲出川本川の整備と歩調を合わせた整備が進められている。

その他の質疑・質問

- 議案第29号 令和7年度津市一般会計予算
 - 都市マスタープラン等策定事業
 - 消防車両購入事業
- 施政方針より、「こども誰でも通園制度の試行的実施」および「災害時受援計画」について
- 教育方針より、子どもたちが安全で快適に学ぶための施設整備について

▶
防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策により、中流域も堤防の整備が進められる





問

職員一人一人が働きがいを持てる職場環境づくりとは

令和7年度施政方針において前葉市長は、「将来に向けて新たな価値を創造する」、「歌舞伎の廻り舞台のように、まちづくりを演じる舞台の床がぐるりと回転し、今演じている場面から新たな場面へと転換する」と述べている。これを受け、行政職員には、将来に向けて新たな価値を創造する研修と職場環境づくりが求められる。職員一人一人が働きがいを持てる職場環境づくりを問う。

答

職員の声を尊重しながら、研修やセミナーを充実させていく

本市では、職員一人一人のやりがいを高めるための取り組みとして、さまざまな研修やセミナーを開催している。

職員が働きがいを実感できる職場環境づくりは、一朝一夕に達成できるものではなく、その大切さに職員一人一人が気づき、当事者として地道に努力を重ねていかなければならないものだと考えている。このことから、まずは、これまでの取り組みから得られた職員の声や社会環境の変化等を踏まえ、必要な改善を加えつつ、各種の研修やセミナーの継続的な実施に取り組んでいく。

その他の質疑・質問

- 施政方針より
- こども・子育て政策について
- 都市づくりについて
- 「電子図書館サービス」の導入の取り組みについて
- 風水害時の避難指示などの発令と解除のタイミングは

新規採用職員研修の様子



問

津市の魅力の発信（PR）について問う

全国的な少子高齢化の中で、地方では若者の都市部への流出対策が非常に大きな課題となり、津市においても課題となっている。津市を魅力的だ、暮らしやすそうだと感じてもらえるなら、津市で暮らしてみたいと考える若者が増加するかもしれない。そこで、デジタル世代の若者層の心をつかむために動画を活用した情報発信をしたり、若者の意見を取り入れる取り組みをしてはどうか。

答

今後も効果的なシティプロモーションの手法を検討していく

津市ではこれまで、市内でロケが行われた映画「浅田家！」の公開に合わせた津市PR動画や市内のドライブコースを紹介する動画などを作成し、津市公式YouTubeチャンネルで公開しており、今後も効果的なシティプロモーションの手法を鋭意検討していく。

また、市政運営を進める上で若い世代の意見は重要だと考えていることから、シティプロモーションにおいても、これまでのように行政側だけで施策を構築していくのではなく、若者を含めた幅広い世代から広く意見を聞き、取り入れる手法を講じながら効果的に展開していく。

その他の質疑・質問

- 産前・子育て応援ヘルパー派遣事業について
- 多子世帯への支援を
- こども誰でも通園制度について
- 津城跡について
- 大門・丸之内地区について
- エリアプラットフォームの自立的な運営は
- デジタル図書館について

松の木の根で膨らみ崩壊が心配される津城跡の石垣



議決結果一覧表

今期定例会では、承認1件、報告9件、条例の一部改正16件・廃止1件、令和6年度補正予算12件、令和7年度当初予算12件、請願1件、人事案件28件、議員提出議案2件、その他2件の84議案が審議されました。

その結果、報告9件を除く75件のうち、74件は承認・可決・同意・異議なしとされ、請願1件は不採択とされました。

可決された議案

【全会一致（出席全議員が賛成）で承認・可決・同意・異議なしとされた議案】

議案番号	議 案 名 概 要
承 認 第 1 号	専決処分の承認について 令和6年度津市一般会計補正予算（第9号） 価格高騰重点支援給付金給付事業の増による11億6,488万7,000円の増額補正等
議 案 第 1 号	津市市税条例の一部の改正について 道路交通法が改正され、特定免許情報の個人番号カードへの記録に関する規定が整備されたことに伴う身体障害者等に対する種別割の減免に係る規定の改正
議 案 第 2 号	令和6年度津市一般会計補正予算（第10号） 道路維持事業の増による3億5,209万8,000円の増額補正等
議 案 第 3 号	津市市税条例及び津市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部の改正について 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律が改正されたことに伴う引用条文の整理
議 案 第 4 号	津市職員の給与に関する条例等の一部の改正について 人事院勧告に伴う給料表、扶養手当、地域手当の改正など
議 案 第 5 号	津市職員等の旅費に関する条例等の一部の改正について 国家公務員等の旅費に関する法律が改正され、旅費の計算等に係る規定が改正されたことなどに伴い、関係条例における職員等の旅費の種類を改めるなどの所要の改正
議 案 第 6 号	津市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部の改正について 育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律が改正され、国家公務員において育児を行う職員の時間外勤務の制限の対象が拡大されることなどに伴い、津市においても同様の取扱いとするための所要の改正
議 案 第 7 号	津市職員の育児休業等に関する条例の一部の改正について 育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律が改正されたことに伴う引用条文の整理
議 案 第 8 号	津市モーターボート競走事業施設整備基金条例の廃止について モーターボート競走事業施設整備基金については、令和6年度をもっての施設整備への充当が完遂することに伴い、令和7年3月31日をもって同基金を廃止することから条例を廃止
議 案 第 9 号	津市手数料徴収条例の一部の改正について 建築基準法が改正され、建築確認の手続等が見直されることおよび建築物のエネルギー消費性能の向上等に関する法律が改正され、原則全ての新築等の建築物に省エネ基準への適合が義務付けられることなどに伴う所要の改正
議 案 第 10 号	津市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営の基準等に関する条例及び津市家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例の一部の改正について 栄養士法の改正により指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準および家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める厚生労働省令が改正されたことに伴う従業者の員数、食事の提供に関わる資格者の規定を改めるための所要の改正
議 案 第 11 号	津市漁港管理条例等の一部の改正について 漁港漁場整備法が改正され、法律の題名が漁港及び漁場の整備等に関する法律に改められたことに伴う関係条例における条文の整理
議 案 第 12 号	津市都市公園条例の一部の改正について 都市公園に津市の許可を得て設置する公園施設の使用料を競争入札による落札金額とするための所要の改正
議 案 第 13 号	津都市計画事業津駅前北部土地区画整理事業施行条例の一部の改正について 津駅前北部地区に係る土地区画整理事業の換地処分が完了したことから、津駅前北部土地区画整理事務所を令和7年3月31日をもって廃止するための改正
議 案 第 14 号	津市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部の改正について 市営住宅の入居者の選考における優先入居者の範囲を拡大するための所要の改正
議 案 第 15 号	津市水道事業に係る布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部の改正について 水道法施行令および水道法施行規則が改正され、布設工事監督者および水道技術管理者の資格要件が見直されたことに伴う所要の改正
議 案 第 16 号	津市公共下水道条例の一部の改正について 下水道法施行令が改正され、特定事業場から公共下水道等に排除される下水に含まれる六価クロム化合物に係る基準が強化されたことおよび公共下水道等からの放流水の水質に関する項目が見直されたことに伴う所要の改正

議案番号	議 案 名 概 要
議 案 第 17 号	工事請負契約について 津市中消防署西分署建築工事 3億158万7,000円
議 案 第 18 号	市道路線の認定について 高茶屋第14号線ほか7路線の認定
議 案 第 19 号	令和6年度津市一般会計補正予算（第11号） 基金管理事業、民間認定こども園運営事業等の増、定額減税補足給付金給付事業等の減による13億2,615万8,000円の減額補正等
議 案 第 20 号	令和6年度津市国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号） 一般被保険者療養給付費、一般被保険者高額療養費、出産育児一時金等の減による7億8,900万5,000円の減額補正（事業勘定）、一般事務費、薬品費の減による367万7,000円の減額補正（直営診療施設勘定）
議 案 第 21 号	令和6年度津市介護保険事業特別会計補正予算（第4号） 施設介護サービス等給付事業、居宅介護サービス等給付事業等の増、地域密着型介護サービス給付事業等の減による5億4,521万6,000円の増額補正
議 案 第 22 号	令和6年度津市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第3号） 後期高齢者医療広域連合納付金の増、一般事務費、保険料還付金の減による9,110万5,000円の増額補正
議 案 第 23 号	令和6年度津市土地区画整理事業特別会計補正予算（第2号） 津駅前北部土地区画整理清算事業、津駅前北部土地区画整理事業の減による2,330万9,000円の減額補正
議 案 第 24 号	令和6年度津市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第2号） 貸付事業運営費の増による238万5,000円の増額補正
議 案 第 27 号	令和6年度津市駐車場事業会計補正予算（第1号） 収益的支出26万6,000円の増額補正、資本的支出225万円の増額補正
議 案 第 28 号	令和6年度津市モーターボート競走事業会計補正予算（第3号） 収益的支出3,298万1,000円の減額補正、資本的支出2,079万6,000円の減額補正
議 案 第 33 号	令和7年度津市土地区画整理事業特別会計予算 公債費、津駅前北部土地区画整理清算事業 1億2,445万4,000円
議 案 第 34 号	令和7年度津市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算 貸付事業運営費等 1,527万円
議 案 第 35 号	令和7年度津市棕本財産区特別会計予算 総務管理事業等 51万2,000円
議 案 第 37 号	令和7年度津市工業用水道事業会計予算 施設維持管理費、減価償却費等 2,036万5,000円（支出）
議 案 第 39 号	令和7年度津市駐車場事業会計予算 建設改良費、施設維持管理費、減価償却費等 3億8,914万4,000円（支出）
議 案 第 40 号	令和7年度津市モーターボート競走事業会計予算 開催費、建設改良費、競走実施費等 654億9,743万2,000円（支出）
議 案 第 41 号	津市監査委員の選任につき同意を得るについて 議会選出の監査委員として安積むつみ議員の選任に同意
議 案 第 42 号	津市国民健康保険条例の一部の改正について 国民健康保険法施行令が改正され、市町村の保険料の賦課に関する基準における基礎賦課限度額および後期高齢者支援金等賦課限度額が引き上げられたことに伴う所要の改正
議 案 第 43 号	津市監査委員の選任につき同意を得るについて かたやま ひかる 片山 光
議 案 第 44 号	津市農業委員会委員の選任につき同意を得るについて おおた よしまさ 太田 義政
議 案 第 45 号	津市農業委員会委員の選任につき同意を得るについて かわべ ちあき 川邊 千秋
議 案 第 46 号	津市農業委員会委員の選任につき同意を得るについて さかの だいてつ 坂野 大徹
議 案 第 47 号	津市農業委員会委員の選任につき同意を得るについて たむら あきら 田村 明
議 案 第 48 号	津市農業委員会委員の選任につき同意を得るについて みずたに たかし 水谷 隆
議 案 第 49 号	津市農業委員会委員の選任につき同意を得るについて たぐち よしのり 田口 慶則

議案番号	議 案 名
	概 要
議 案 第 50 号	津市農業委員会委員の選任につき同意を得るについて なかの たつ子
議 案 第 51 号	津市農業委員会委員の選任につき同意を得るについて の だ せい太 野田 清太
議 案 第 52 号	津市農業委員会委員の選任につき同意を得るについて もろと よしあき 諸戸 善昭
議 案 第 53 号	津市農業委員会委員の選任につき同意を得るについて きた よしゆき 喜多 義幸
議 案 第 54 号	津市農業委員会委員の選任につき同意を得るについて しみず きよみ 清水 喜代己
議 案 第 55 号	津市農業委員会委員の選任につき同意を得るについて いげやま まさとし 池山 允敏
議 案 第 56 号	津市農業委員会委員の選任につき同意を得るについて みやもと まさはる 宮本 政春
議 案 第 57 号	津市農業委員会委員の選任につき同意を得るについて おかだ ゆうき 岡田 勇樹
議 案 第 58 号	津市農業委員会委員の選任につき同意を得るについて にしもり よしのり 西森 偉統
議 案 第 59 号	津市農業委員会委員の選任につき同意を得るについて ゆうき しんぞう 結城 晋三
議 案 第 60 号	津市農業委員会委員の選任につき同意を得るについて おかやす としや 岡安 俊也
議 案 第 61 号	津市農業委員会委員の選任につき同意を得るについて きたざわ な お み 北澤 奈帆美
議 案 第 62 号	津市農業委員会委員の選任につき同意を得るについて まえかわ ようこ 前川 洋子
議 案 第 63 号	津市農業委員会委員の選任につき同意を得るについて きのした のぶひろ 木下 伸裕
議 案 第 64 号	津市農業委員会委員の選任につき同意を得るについて こが い ふみお 小粥 文夫
議 案 第 65 号	津市農業委員会委員の選任につき同意を得るについて ふじた なおき 藤田 直樹
議 案 第 66 号	津市農業委員会委員の選任につき同意を得るについて まるやま こういち 丸山 耕一
議 案 第 67 号	津市農業委員会委員の選任につき同意を得るについて なかむら たかゆき 中村 高之
諮 問 第 1 号	人権擁護委員の候補者の推薦について まえがわ まさかず 前川 正和
諮 問 第 2 号	人権擁護委員の候補者の推薦について ひらまつ かずなお 平松 和直
議 員 提 出 議 案 第 2 号	津市議会の個人情報の保護に関する条例の一部の改正について 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律が改正されたことに伴う引用条文の整理

【賛成多数で可決された議案】

議案番号	議 案 名	賛成しなかった 議員
	概 要	
議 案 第 25 号	令和6年度津市水道事業会計補正予算（第3号）	滝勝弘、中野裕子
	収益的支出3億5,969万3,000円の減額補正、資本的支出6億9,165万6,000円の減額補正等 《反対討論 日本共産党津市議団 滝 勝弘議員》ウォーターPPPという、国が主導して水道事業を民間委託していく大きな流れの中にあるとして反対した上下水道管理・更新一体マネジメント方式検討支援業務委託料が含まれているため、反対する。	

議案番号	議 案 名	賛成しなかった議員
	概 要	
議 案 第 26 号	令和6年度津市下水道事業会計補正予算（第3号） 収益的支出 4,530万1,000円 の減額補正、資本的支出 7億9,915万3,000円 の減額補正等	滝勝弘、中野裕子
	《反対討論 日本共産党津市議団 滝 勝弘議員》ウォーターPPPという、国が主導して水道事業を民間委託していく大きな流れの中にあるとして反対した上下水道管理・更新一体マネジメント方式検討支援業務委託料が含まれているため、反対する。	
議 案 第 29 号	令和7年度津市一般会計予算 こども・子育て支援施策や幼児保育環境の充実、教育関係事業に関する経費、健康づくりや地域医療体制の充実のための経費、福祉関係事業に関する経費、防災機能強化や消防関係事業、防災対策事業などの安全なまちづくりの推進に関する経費、環境関係事業や生活基盤の整備事業に関する経費、生涯学習の推進やスポーツ・文化の振興や市民活動の推進に関する経費、農林水産業や商工業および観光の振興事業に関する経費等 1,316億9,300万円	滝勝弘、中野裕子 長谷川植（拒否）
	《反対討論 日本共産党津市議団 滝 勝弘議員》給食費の無償化に部分的にさえ踏み出していないこと、加齢性難聴への補聴器購入補助や認知症事故救済制度の導入などが実現されていないこと、市民のなりわいを支援する政策が足りていないこと、避難所となる学校体育館への空調設備設置の計画が入っていないことなど、暮らし、福祉、教育に関わって、全体として市民の要望に応える予算となっていないことから反対する。	
議 案 第 30 号	令和7年度津市国民健康保険事業特別会計予算 療養給付費、国民健康保険事業費納付金等 260億6,416万6,000円 （事業勘定）、医業費等 5,969万4,000円 （直営診療施設勘定）	滝勝弘、中野裕子
	《反対討論 日本共産党津市議団 滝 勝弘議員》国の責任の後退と加入者の高齢化、暮らしの貧困などが進んでいる。高すぎる保険料を下げるべきと考えることから、反対する。	
議 案 第 31 号	令和7年度津市介護保険事業特別会計予算 居宅介護サービス等給付事業、施設介護サービス等給付事業等 312億6,997万1,000円	滝勝弘、中野裕子
	《反対討論 日本共産党津市議団 滝 勝弘議員》高すぎる介護保険料が高齢者の暮らしを圧迫していることから、さらに負担軽減を図るべきと考え、反対する。	
議 案 第 32 号	令和7年度津市後期高齢者医療事業特別会計予算 後期高齢者医療広域連合納付金、徴収事務費等 84億430万7,000円	滝勝弘、中野裕子
	《反対討論 日本共産党津市議団 滝 勝弘議員》後期高齢者医療制度は、75歳という年齢で全ての医療保険制度から排除し差別する制度であり、廃止すべきと考えることから反対する。	
議 案 第 36 号	令和7年度津市水道事業会計予算 受水費、施設維持管理費、減価償却費等 120億2,429万3,000円 （支出）	滝勝弘、中野裕子
	《反対討論 日本共産党津市議団 滝 勝弘議員》県営水道の必要以上の契約により水道事業会計が圧迫されている。遠くから運んでくる水に頼るより、近くの自己水源を確保することが必要と考える。また、ウォーターPPPという、国が主導して水道事業を民間委託していく大きな流れの中にあるとして反対した上下水道管理・更新一体マネジメント方式検討支援業務委託料が含まれているため、反対する。	
議 案 第 38 号	令和7年度津市下水道事業会計予算 建設改良費、減価償却費、企業償還金等 241億8,277万 （支出）	滝勝弘、中野裕子
	《反対討論 日本共産党津市議団 滝 勝弘議員》ウォーターPPPという、国が主導して水道事業を民間委託していく大きな流れの中にあるとして反対した上下水道管理・更新一体マネジメント方式検討支援業務委託料が含まれているため、反対する。	
議 案 第 68 号	津市市長及び副市長の給与及び旅費に関する条例の一部の改正について 上下水道事業の職員が逮捕・起訴されたことについて、上下水道業務の執行に関し津市を代表する上下水道事業管理者を任命し、また、市政を統括する市長の責任として、令和7年4月1日から同年5月31日までの間における市長の給料月額から当該額の100分の10に相当する額を減ずる改正	桂三発
議 案 第 69 号	令和6年度津市一般会計補正予算（第12号） 学校施設維持補修事業（小学校費および中学校費）、営農継続支援事業、戸籍住民記録事業等の増による 13億6,206万8,000円 の増額補正	滝勝弘、中野裕子
	《反対討論 日本共産党津市議団 滝 勝弘議員》戸籍住民記録事業に含まれる氏名振り仮名届出事業は、マイナンバー法に基づき戸籍に記載されている氏名の振り仮名を一般に認められている読み方に制限するもので、行政が命名に介入することになるため、反対する。	
議 員 提 出 議 案 第 1 号	津市議会議員定数条例の一部の改正について 最近の社会情勢や議員定数の削減を求める市民の声などを踏まえ、議員定数を4人削減し、30人とするための改正（改正施行の日以後初めてその期日を告示される一般選挙から適用）およびそれに伴う津市議会委員会条例における常任委員会の委員定数の改正	滝勝弘、中野裕子
	《反対討論 日本共産党津市議団 中野 裕子議員》議員定数は、市民の参政権に関わる大問題であるにもかかわらず、令和6年7月の特別委員会設置から議案提出までがあまりに拙速であり、十分に論議がされつくされていないと感じる。また、議員定数を減らす議論よりも、議員・議会の質をいかにして高め、民意の反映をしていくかの議論の方が大事であると考え、反対する。	

報 告

議案番号	議 案 名 概 要
報 告 第 1 号	専決処分の報告について 交通事故による損害賠償の額の決定 8万円
報 告 第 2 号	専決処分の報告について 交通事故による損害賠償の額の決定 51万4,950円
報 告 第 3 号	専決処分の報告について 落枝に伴う事故による損害賠償の額の決定 32万4,000円
報 告 第 4 号	専決処分の報告について 道路管理の瑕疵による損害賠償の額の決定 2万3,298円
報 告 第 5 号	専決処分の報告について 水路敷除草作業に伴う事故による損害賠償の額の決定 19万5,965円
報 告 第 6 号	専決処分の報告について 交通事故による損害賠償の額の決定 5万1,590円
報 告 第 7 号	専決処分の報告について 無人航空機の墜落に伴う事故による損害賠償の額の決定 6万7,100円
報 告 第 8 号	専決処分の報告について 津市立明合小学校長寿命化改修工事に係る工事請負契約の一部変更 変更前 1億4,171万3,000円 変更後 1億4,298万1,300円
報 告 第 9 号	専決処分の報告について 津市立橋北中学校長寿命化改修工事に係る工事請負契約の一部変更 変更前 1億4,383万6,000円 変更後 1億4,985万6,300円

不採択とされた請願

請願番号	請 願 名 概 要	賛成議員
請 願 第 1 号	「核兵器禁止条約」に署名・批准を求める請願書 2017年7月に国連で採択された「核兵器禁止条約」について、日本政府は反対を表明しているが、今こそ日本は唯一の戦争被爆国として地球上の核兵器廃絶に向けて主導的役割を果たすべきである。そのために「核兵器禁止条約」への署名・批准を国の関係機関へ働きかけるよう請願する。 《賛成討論 日本共産党津市議団 中野 裕子議員》核抑止論には根本的な欠陥があり、核兵器の存在は地球を守ることにつながるとは到底言えない。唯一の戦争被爆国である日本が条約に参加すれば、核兵器廃絶の流れが加速すると考える。現在、全国713の地方議会が国に核兵器禁止条約への参加・批准・署名を求める意見書を採択していることから、核兵器の廃絶と世界の恒久平和を願い、「非核平和都市宣言」を掲げる津市が、請願を採択することを求め、賛成する。	滝勝弘、中野裕子、 桂三発、堀口順也、 安積むつみ、 小島晴美、青山昇武

議員定数条例の一部改正案を可決 ～34人を30人に～



特別委員会報告書

津市議会では、議員定数に関する調査・研究を行うことを目的として、令和6年7月3日に議員定数検討特別委員会を設置し、令和7年2月4日までに7回の会議を開催しました。同特別委員会では、議員定数の削減を求める市民の声なども参考に、議員定数を4人減らして30人とすべきとする報告書を令和7年2月12日に議長に提出しました。

これを受けて、令和7年3月25日に議員定数を減らすための議員提出議案が上程され、賛成多数で可決されました。

これにより、議員定数はこれまでの34人から30人となり、次回の市議会議員一般選挙から適用されることとなりました。

本会議・委員会の模様を映像配信しています！

令和7年第2回定例会の本会議・委員会の模様は、津市議会ホームページで映像配信する予定です。

また、ケーブルテレビ（ZTV）の津市行政情報番組（デジタル123チャンネル）でも本会議の模様を録画放送する予定です。

放送日程等は、決まり次第ケーブルテレビ等でお知らせします。



津市議会の
ホームページに
アクセスできます。

津市議会ホームページから、「映像配信」にアクセスすると、ライブ映像、録画放送が視聴できます。



令和7年第2回定例会日程予定

日	月	火	水	木	金	土
6/8	9 本会議 開会日	10	11 議会運営 委員会	12	13	14
15	16 本会議 質問日	17 本会議 質問日	18 本会議 質問日	19 本会議 質問日	20	21
22	23 建設水道 委員会	24 教育厚生 委員会	25 経済環境 委員会	26 総務財政 委員会	27	28
29	30	7/1 議会運営 委員会	2 本会議 閉会日	3	4	5

日程は変更になる場合があります。
その場合は津市議会ホームページでお知らせします。

岡村 武 議員 逝去



津市議会議員岡村武氏は、令和7年5月3日に逝去されました。

平成11年5月に旧津市議会議員として初当選されて以来、連続7期26年にわたり活躍され、市政発展のために尽力されました。

ここに故人の功績をたたえ、謹んでお悔やみ申し上げます。

つ市議会だよりに対するご意見、ご感想は、
議会事務局まで（下記所在地、電話番号等）

議長を選出

3月24日に議長選挙が行われ、議長に小野欽市議員が選出されました。また、議長選出に伴い、議会運営委員に吉川一正議員、建設水道委員に青山昇武議員が選任され、建設水道委員会の委員長に滝勝弘議員、副委員長に佐藤知子議員が選出されました。

つ市議会だより 第77号

年4回発行（3月・6月・9月・12月）

編集◆議会だより編集委員会

発行◆令和7年6月1日／津市議会

津市西丸之内23番1号

T E L 059 (229) 3222

F A X 059 (229) 3337

Eメール◆229-3222@city.tsu.lg.jp

ホームページ◆https://www.gikai.city.tsu.mie.jp/

印刷◆三宅印刷株式会社